2026 年 11 月 18 日

「猿島って知っている？ ～日本遺産の猿島を見てみよう！～」

林　　但

11 月 17 日（火）北下浦小学校3年生より表記をテーマに総合学習の一環で授業の要請（2ヶ月前）があった。過去、猿島で行うことがほとんどであるが、今回は 11 日に児童 34 名は約 3 時間先生とともに探検手法を使い自分たちで学ばれた。私は座学方式になるが、以下のことを児童に確認してから授業を行った。(1)猿島で一番印象に残った事・場所は　(2)左記を踏まえて個々にフリップチャートと専門ガイド協会のホームページ、パワーポイントを使い解説　(3)こんなこともあります、体験学習手法（砂浜の砂鉄・貝殻、アサギマダラ、なぜ猿島：紙芝居で）他を児童と一緒に確認して学びました。

時間の都合で自然系の植物の話はほとんどできなかったが、3 年生の児童は本当によく見てきてくれていた。例えば、レンガ積みはフランス積みとイギリス積み：オランダ積みがあること等、話してくれる児童があった。また、先週末に家族と一緒にまた、猿島に出かけて確認をしたと話してくれる児童もありびっくり致しました。

横須賀市の方に対して市民割引を船会社は行っている他、市としても助成制度も行っており島に来る学校はある。通常一番多いのは 6 年、5 年であるが 3 番目に 3 年生が多い。東京湾唯一の無人島である「猿島」は絶好の教材であり、中学生以上では平和教育や環境教育・自然観察会でも神奈川県下や東京からの学校からの要請もあります。

今回の小学校担任の先生からは、1 月から磁石が予定されており砂鉄のことは理科の「磁石」につながりとても関心が高まりましたと連絡がありました。



解説の場面



砂絵　1



砂絵　2